

日本物理学会－日本医学物理学会第2回合同シンポジウム
「物理学と医学の融合－医学物理士を取り巻く実情と今後」

2008年11月22日（土） 10:30から

立教大学 4号館 4402 教室

＜ポストドクター、大学院生を含む物理系・医学研究者の方々へ＞

がん治療の主軸である放射線治療には最先端技術を十分理解した人材が不可欠であり、理学、工学、医学、保健学等、さまざまな分野の資質を持った若い人材が求められています。みなさんが取り組んでいる研究テーマが他の新たな学問にも大きく貢献し、幅広い柔軟性を兼ね備えていることを御紹介します。

＜プログラム＞

■開会あいさつ

二宮正夫（日本物理学会長）、金井達明（日本医学物理学会長）、佐藤文廣（立教大学理学部長）

■基調講演 座長：小泉哲夫（立教大学）

「社会経済的価値の増進が期待される医学物理領域」田倉智之（大阪大学）

「立教大学－順天堂大学の取り組み」唐澤久美子（順天堂大学）、栗田和好（立教大学）

＜昼食＞

「日本のがんと放射線治療」中川恵一（東京大学）

■口頭セッション 座長：下浦 享（東京大学）

テーマ1：「放射線シミュレーション」齋藤秀敏（首都大学東京）

テーマ2：「放射線治療と計測」松藤成弘（放射線医学総合研究所）

テーマ3：「医学物理士を目指して」川嶋基敬 石井健一（順天堂大学）

テーマ4：「医学画像と放射線治療」西尾禎治（国立がんセンター東病院）

■討論会 モデレータ：西尾禎治氏 パネリスト：講演者の方々

キャリアカフェ（懇親会）17:00-19:00（立教大学5号館地下1F コモンルーム）

単なる懇親会ではなく、4つのテーブルに分かれて、参加者、講演者、医学系関係者がフラットな立場で双方向に自由に語り合える場を提供します。

主催：社団法人日本物理学会・日本医学物理学会

協賛：立教大学・順天堂大学がん生涯教育センター・日本放射線腫瘍学会

参加希望の方は事前登録を（シンポジウム参加費無料 懇親会 3,000円）

<http://www.ph-career.org/>

ご質問、お問い合わせ先 日本物理学会キャリア支援センター

03-3434-2674

toiawase@ph-career.org